

2026 年 10 月 28 日

三井ホーム株式会社

三井ホームの 3 作品が「ウッドデザイン賞 2026」を受賞

～5 年連続受賞。累計では 19 作品が受賞～

三井ホーム株式会社（本社：東京都江東区、社長：野島秀敏、以下「当社」）は、一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催する「ウッドデザイン賞 2026」で、3 作品が受賞したことをお知らせいたします。「桜の聖母学院小学校・中学校」は、校舎そのものが建築・空間分野で、地産材を活用した教育空間づくりの取り組みがコミュニケーション分野で、「Brillia ist 洗足池の杜」は建築・空間分野で、それぞれ受賞しました。三井ホームグループとしては、5 年連続の受賞で、累計 19 作品受賞したこととなります。

当社は、これまで培ってきた木造建築の技術とノウハウを活かし、住宅をはじめ、教育施設や賃貸マンションなど、さまざまな用途の建築物の木造化・木質化に取り組んでいます。今後も、木材の特性を活かした建築・空間づくりを推進し、木造建築のさらなる普及と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

【受賞作品】

- 桜の聖母学院小学校・中学校
- 地産材を活かした教育空間づくり—小・中一貫校「桜の聖母学院」によるモデルケース—
- Brillia ist 洗足池の杜



桜の聖母学院小学校・中学校（建築・空間分野とコミュニケーション分野の 2 分野で受賞）



Brillia ist 洗足池の杜

本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「農林水産省林野庁林政記者クラブ」にお届けしています。

本件に関するお問い合わせ先 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ
津田・池本

TEL : 03-6370-7562 Mail : kouhou@mitsuihome.co.jp

【「ウッドデザイン賞2026」受賞作品概要】

■ 桜の聖母学院小学校・中学校

共同受賞者：三井ホーム株式会社、学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム、株式会社マルホン※¹

受賞対象分野：建築・空間分野

顕彰部門：ソーシャルデザイン部門

特長：

- ・福島県福島市にある「桜の聖母学院小学校・中学校」の小・中一貫の教育環境を整備するため、木造校舎を増築。
- ・「火熱遮断壁等」※²を用いた既存の耐火RC造校舎への準耐火木造校舎※³の増築という、2022年の建築基準法改正を活かした先進事例。
- ・新校舎は地上2階建ての木造軸組工法（SE構法※⁴）を採用し、木材の特性を活かした学習・交流空間を整備。



校舎 外観



木構造に接続された火熱遮断壁（施工時写真）

■ 地産材を活かした交流の生まれる教育空間づくり—小・中一貫校「桜の聖母学院」によるモデルケース—

共同受賞者：三井ホーム株式会社、学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム、株式会社マルホン※¹

受賞対象分野：コミュニケーション分野

顕彰部門：ハートフルデザイン部門

特長：

- ・「桜の聖母学院小学校・中学校」の校舎増築において、株式会社マルホンの協力により、福島県産材を活用した木質建材や家具を導入し、児童・生徒が日常的に地域の木材に触れながら、学年を越えた交流や自発的な学びを育む教育空間を実現。
- ・床材にはクリ材、壁材やベンチ、下足入れにはスギ材、サインやベンチの一部には学校のシンボルであるサクラ材を使用し、地域の森林資源や木材への関心を育む。
- ・自然と目が合うオープンな下足入れ、用途に応じて配置を変更できるベンチなど、児童・生徒の交流を促す工夫を施す。



木のあらわして仕上げた交流ホール



昇降口・下足入れ

■Brillia ist 洗足池の杜

共同受賞者：東京建物株式会社、三井ホーム株式会社

受賞対象分野：建築・空間分野

顕彰部門：ハートフルデザイン部門

特長：

- ・東京建物株式会社が開発し、三井ホームが設計・施工を担当した地上5階建ての木造賃貸マンション。
- ・三井ホームが展開する木造マンションブランド「MOCXION（モクシオン）」※5。
- ・主要構造部に木材を使用するとともに、共用部や一部住戸の内装にも天然木を採用し、木のぬくもりや質感を感じられる居住空間づくりを実現。
- ・建物の木造化を通じて、建築時のCO₂排出量の削減を図るなど、環境負荷の低減にも配慮。
- ・木材の特性を活かした住空間の創出と環境性能を両立し、都市部における木造賃貸マンションの可能性を広げる取り組み。



エントランスホール



モデルルーム

【ウッドデザイン賞について】

ウッドデザイン賞は、一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催する、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。建築・空間をはじめ、技術・建材、プロダクト、コミュニケーションなど幅広い分野を対象とし、木材の活用を通じた社会課題の解決や新たな価値の創出につながる取り組みを顕彰しています。

ウッドデザイン賞公式サイト：<https://www.wooddesign.jp/>



ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2026

※1 株式会社マルホン（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮島一仁）は、日本国内をはじめ世界各国から厳選したフェアウッドを直接調達し、無垢フローリングをはじめとする内装建材を扱う建材メーカーです。住宅、オフィス、ホテル、文教施設、公共施設など多様な空間への提案を行うとともに、国産材・地域材の利活用にも積極的に取り組んでいます。桜の聖母学院では、床材・壁材・家具に福島県産材を採用し、地域資源の価値向上と豊かな教育環境づくりに貢献しています。

※2 火熱遮断壁等：延焼を遮断できる高い耐火性能の壁等。令和6年4月1日に施行された改正建築基準法の下では、火熱遮断壁等で区画することにより防火規制を一部適用除外することが可能となることで、混構造建築物や複合用途建築物において、木造化等の設計を採用しやすくなった。

※3 準耐火建築物：建築基準法に定められた基準に基づき、建物の主要構造部を準耐火構造（通常の火災による延焼を抑制するために必要な構造）とした建築物。

※4 SE構法：株式会社エヌ・シー・エヌが開発した、柱と梁を剛接合にすることで強固な構造をつくりあげる構法。高い耐震性と自由な設計が可能。

※5 当社の木造マンションブランド。<https://www.mitsuihome.co.jp/company/news/2021/0702.html>

■三井ホームは MOCX Green Project を推進します

https://www.mitsuihome.co.jp/company/mocx_green_project/

MOCX Green Project とは、これまでに 25 万棟以上の木造建築をつくってきた当社が、さらなる木造建築の可能性を広げ様々な取り組みを通じて脱炭素に貢献していくプロジェクトです。



■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024年4月の新グループ経営理念策定時、「G R O U P MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1．産業競争力への貢献」、「2．環境との共生」、「3．健やか・活力」、「4．安全・安心」、「5．ダイバーシティ&インクルージョン」、「6．コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「&EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の 5 つを定めています。本リリースの取り組みは、「&EARTH for Nature」における重点課題の 1 つに貢献しています。



自然資源を循環させる

本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「農林水産省林野庁林政記者クラブ」にお届けしています。

本件に関するお問い合わせ先 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ 津田・池本

TEL : 03-6370-7562 Mail : kouhou@mitsuihome.co.jp